

様式 1

県立岩瀬高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

他者と協働しながら、より良い未来を創造できる“自律”した生徒の育成
 ○自ら課題を見つけ、他と協働しながら問題解決に向かって行動することができる。
 ○生涯にわたって学び続けることができる。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
1) (知識・技能) 課題発見のため、またその解決に向けて必要な情報を収集・整理するために必要となる基礎的・基本的な知識や技能 (2) (思考力・判断力・表現力) 自分なりの考えを持ち、その考えをもとに課題解決に向けて他者と協働しながら新たな提案をする力 (3) (学びに向かう力、人間性等) 自己実現やよりよい社会の実現のために、自律的に行動することのできる力	1) 探究の手法（情報収集や分析方法）を理解し、使いこなせているか 2) 課題の設定から解決策の提案まで、論理的に考え、発信できているか 3) 自ら課題を見つけ、粘り強く修正しながら取り組んでいるか	集団活動に不安がある生徒には、少人数グループの編成や、個人のペースで進められる個別探究の時間を確保するなど、心理的安全性に配慮した環境を整える

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年全	(1) 岩瀬高校を知る ・学校のHPなどから情報を収集し、課題を見つけ出し、まとめる。 (2) 地域を知る ・市役所や観光協会のHPなどから、地域の情報を収集し、岩瀬高校生として地域貢献できることを見つけ出し、まとめる。 (3) 他者との協働 ・ソーシャルスキルトレーニングを行い、コミュニケーションや対人スキルを磨く。	・進路関係業者 ・桜川市役所職員 ・地域住民	・岩瀬高校の魅力や課題を知り、課題は解決しようとする主体的に協働して取り組むことができる。 ・地域と自分を知り、社会の一員であることを自覚し、他と協働し成長しようとするすることができる。 ・人間関係を円滑に構築できる。

様式 1

<p>2年 普通科</p>	<p>(1) 自己PR力の育成 ・自らを知り、自己PR力を高め、次年度の進路実現につなげる。</p> <p>(2) 他者との協働 ・ソーシャルスキルトレーニングを行い、コミュニケーションや対人スキルを磨く。</p> <p>(3) 地域社会に関心を向ける ・地域と協力し、フィールドワーク等を行い、地域社会の活性化を考える。</p> <p>(4) 沖縄（平和と文化） ・平和学習や文化的体験を通して、多様な文化と歴史を理解し、見識を広める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路関係業者 ・桜川市役所職員 ・地域住民 ・修学旅行業者 ・沖縄観光協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを正しく理解し、自らをPRできる。 ・人間関係を円滑に構築できる。 ・地域社会に理解を示し、貢献できる。 ・様々な人種や文化に対応できる。
<p>2年 衛生看護科（臨地実習）</p>	<p>(1) 臨地実習事前学習 ・オリエンテーション ・看護技術演習</p> <p>(2) 基礎看護臨地実習 ・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション ・日常生活の援助</p> <p>(3) 臨地実習事後学習 ・発表会「対象に合わせた看護技術の提供」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の医療施設等 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地における看護技術の基礎について理解し、関連する技術を身につける。 ・臨地における看護実践の基礎について課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見出せる。 ・臨地における看護実践の基礎について自ら学び、よりよい看護を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
<p>3年 普通科</p>	<p>(1) 自己PRの完成 ・自己PR力を高め、効果的なプレゼンテーションを実践し進路実現につなげる。</p> <p>(2) 地域社会に関心を向ける ・地域社会の魅力や課題点を探究し具体的方策を考え発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桜川市 ・就職先企業 ・進学先教育機関等 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を構築するため適切な自己PRができる能力や資質を身に付ける。 ・地域に貢献し、自ら課題を解決する能力を身に付ける。

様式 1

<p>3年 衛生看護 科（臨地 実習）</p>	<p>（1）臨地実習事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・看護技術演習 <p>（2）基礎看護臨地実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉施設の機能と看護の役割 ・対象の理解 ・看護におけるコミュニケーション ・日常生活の援助 <p>（3）臨地実習事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会「ケースレポート発表会」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の医療施設等 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地における看護の多様な課題を見つけ出し、科学的根拠に基づく基礎的な看護を提示し、解決策を見出せる。根拠に結び付けて考察する過程では、看護を論理的にとらえ、科学的根拠に基づく看護を目指し、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・臨地における看護実践の基礎について課題を発見し、倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見出せる。 ・臨地における看護実践の基礎について自ら学び、よりよい看護を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
-------------------------------------	--	--	--